



どしてらば〜

いかがおすごしですか？



丸喜(株) 齋藤組

できる人がある 挑むひとがいる

Vol.65
隔月 20日発行

丸喜株式会社齋藤組
本 社 〒030-0822 青森市中央二丁目2-12
TEL:017-777-3329 FAX:017-723-1796
展示場 〒030-0843 青森市浜田一丁目7-10
TEL:017-729-8832 FAX:017-762-1648
<http://www.marukisaito.com>
E-mail:tenjijo@marukisaito.com

暑い夏も一段落し、気温も下がり過ごしやすい季節となりました。
芸術、スポーツ、食欲、読書と様々な秋の過ごし方がありますがコロナ禍ではこれまでとは異なる過ごし方を
いらっしゃるのではないのでしょうか。
そんな中、スポットで取り入れ易いインテリアに関する情報をお知らせ致します。
さて、今回は、これから始まる新しい試み「Maruki Saitogumi Furniture」の紹介です。



自然な表情と、重量感があり硬くてタフなタモ材を使用しています。
ナラ材と比べると比較的本目がはっきりしていて、
塗装は美しい木目を残した、墨色のように仕上げています。
化粧単板としても人気が高いですが、無垢材を突き合わせて一枚のテーブルにしました。

「table tamo1」



屋内、屋外問わず使用できる超軽量ラタンテーブル&イスです。
日曜の朝食をデッキでとったり、週末の夜にゲストを呼んでデッキで食事をとったり。
リラックスした日常をお楽しみください。
樹脂製のラタンなので、雨に濡れてもさっとふくだけ。水洗いで傷む心配がありません。
展示場「ZERO」ではデッキに展示しています。

「rattan table1」「rattan chair2」

「Maruki Saitogumi Furniture」

丸喜 株式会社 齋藤組では、造作家具、テーブルなど、暮らしに関わる様々な商品を製作、ご提供しています。
近々、新しくリニューアルするホームページのコンテンツの中に、新たに「Online Shopping」ページが加わる予定です。

そのページ内では、当社で製作した家具、ラタンを使用した家具等、
「お家時間にくつろぎをもっと。」「ひらめきをもっと。」
「コミュニケーションをもっと。」と、さまざまなコンセプトをもとに、構成作業中です。

そのほか、家具を新調したいけど、いまのお家の間取りに合うサイズがお店にない。
など、お悩みを少しでも解決できるよう、寸法をオーダーできる家具の構想もあたためています。

どしてらばあ今月号では、掲載予定の家具を一部ご紹介いたします。
世界に発信されている商品を、現地生産工場に直接出向き、直接仕入れることができた、建材、家具の他、
青森県産材の「杉」活用をしている木製サッシメーカー「日本の窓」社製の商品。などなど、
今後、当社のホームページに掲載される予定の商品の一部。

弊社で製作した「オリジナル家具」。数量限定の良質・最適価格の「テーブル&チェア」。
県産材を用いた、あたたかみのある「木のスツール」など一部を、いち早く掲載します。
いずれも、浜田にあるモデルハウス「ZERO」に、実際に並べているので、ぜひ足をお運びください。
価格、寸法など、ホームページリニューアルまで待てない方は、気軽にお問い合わせください。
数量限定なので、早い者勝ちです。



青森県産材を活用し、木製サッシを製作している
「日本の窓」社製のスツール。
木製サッシには使えない規格外の杉材をスツールの座面に使用しています。
ほっこりとする、木のぬくもりと、シンプルなデザインが人気のプロダクトです。

「sugikko S , M」



秋の大イベントハロウィン！
コスプレまではなくても、自宅をお化けやクモの巣で
飾って楽しんでいる方も多いのではないのでしょうか。



カボチャお化けは



カブお化けだった!?



ハロウィンといえばやはり、『ジャック・オー・ランタン』。
オレンジ色のカボチャで出来た、ユニークな顔のラン
タン達ですが、元々はカボチャではなく、カブだった
事をご存知でしょうか。

スコットランドやアイルランドで、子供や貧しい人た
ちが仮装をして家々を訪れたときに持ち歩いていたの
が、大きい「ルタバガ」というカブの中身をくりぬい
たランタン。



超高齢化時代の救世主？！

介護用排泄センサーHelppad

9月21日は敬老の日。
敬老の日とは、年長の方を敬い、感謝の気持ちを伝えるため
の日との事。年齢とはすなわち試行錯誤の回数…その分年
長者は経験豊富と言う気持ちを持つ事は大切ですよね。

今や日本は65歳以上が4人に1人の超高齢化社会(高齢化
社会とは高齢化率が14%以上・超高齢化社会は高齢化率が
21%で、日本はすでに高齢化率が21%超え！)。
人生100年時代を謳歌している元気な高齢者が沢山いる反
面、介護に関する問題からも目を背ける訳にはいかなくなりま
した。

介護現場の中でも大変なものの一つに、排泄物の処理があり
ます。その負担を軽くするために開発されたのが「排泄センサー
Helppad」。匂いで排泄を検知してくれるシートなのです。

シート全体から排泄物の匂いを吸引して、中に入っているセン
サーが尿と便の両方を検知。排泄を検知すると、ベッドの近く
にあるリモコンやケアスタッフが持っている受信機に通知されま
す。

また、パソコンの専用アプリケーションにも通知がいくことで、排
泄があったことを介護している人に的確に伝えてくれるのです。
しかも、ベッドに敷くだけで設置が完了、体に何も装着する必要
がありません。



しかし、ハロウィンの文化がアメリカに渡り、カブの代
わりに手に入りやすく加工がしやすいカボチャを使う
ようになったようです。

「ルタバガ」は、スウェーデンが原産とされるアブラナ科の
根菜で、「スウェーデンカブ」とも呼ばれていますが、厳密
にはカブとは別種の植物のようです。
貯蔵性が高く、黄色い果肉で、ポテトのような食べ方がお
いしいそうです。

かつて日本でも北東北で広く栽培されていたようで
が、今では宮城県気仙沼市の大島で『大島カブ』
の名で栽培されています。

実はこのカブ、絵本で有名な『おおきなかぶ』のモデル。
この話はロシアの民話で、ロシアやヨーロッパの絵本で
は、大きな黄色いカブに描かれています。



開発社 株式会社abaの代表取締役社長 宇井吉美さん
は「以前働いていた施設でケアスタッフさんから「オムツを開
けずに中を見たい」と言われたのが開発を始めるきっかけ」
と語っています。

介護現場ではおむつを交換するタイミングというのでは可
るだけ一人ひとりにあわせたいですが、なかなか業務の都
合上できなくて、定時でオムツを変えたり、交換が遅れてし
まったりする事が常との。そこでHelppadのようなシートがあ
れば、一人一人のタイミングにあわせてオムツを交換するこ
とが可能になると考えたのですね。



Helppadの紹介に、介護無資格者・未経験者でも適切な
ケアができる手助けになればとの文章がありました。超高
齢化時代を迎え、一般の家庭などにも介護の場が広がっ
ていく可能性も考えると、今後注目すべき商品の一つでは
ないでしょうか。

BUNACO



前回のこぎん刺しに続き、青森県の自慢できるものの一つBUNACO。
市内の百貨店やお土産コーナーに置いてあるのを目にします。
県名の青い森からも連想させる、温もりを感じる木工品について一緒に深めましょう。

●BUNACOとは

原材料の加工から完成まで自社で一貫生産している青森の木工メーカーから生まれたもの。
もとは漆器の下地として利用するために無垢材を削り出す工程で出るブナ材のテープ。
このテープを有効活用したいという発想からできた「地球にやさしい」環境に配慮した独自の
エコロジカルな製品です。

●ブナの木

日本一の蓄積量を誇る青森県。
「ブナ」は北欧では「森の聖母」と呼ばれるほど木質の美しい木です。
BUNACOを見るとその美しさは言わずとも伝わります。



●オレンジ色の不思議な力

製品は照明をはじめトレイ、ペンスタンド、ダストビン(ごみ入れ)、スピーカーと種類は豊富です。
中でも今回は照明について掘り下げます。
同じ素材でもランプを包むシェードに一部透け感のある製品があります。
点灯するとその部分は何とも言えないやさしいオレンジ色の光を照らしてくれます。
薪ストーブやロウソクの炎を見ているときと同じ感情をもたらします。

色の力としてオレンジ色には癒しの効果があるといわれています。
スマートフォンやPCなど多くから一日中ブルーライトを浴びている私達。
その日常から解き放ち、たちまち癒しの空間へと導いてくれます。



例えば取り入れやすいインテリアの一つの案として、寝室に低めのサイド
テーブルにBUNACOのテーブルランプを置きます。
上部から放つ灯りとブナの木を感じながらのあたたかい灯りを、想像してく
ださい。
優しいオレンジ色を感じながらゆったり深い呼吸をしながらの一日の終わり
はいかがでしょうか。

コロナ禍の今、以前のように旅行へ行きづらい昨今。
多くの時間を過ごす空間の一部にBUNACOを取り入れ、居心地よく、ゆっ
たりくつろげる要素としてご提案致します。



・住宅に関する、質問・ご相談・お問合せは電話・FAX・メール・郵便でいつでも受け付けております。

展示場 E-mail : tenjijo@marukisaito.com TEL : 017-729-8832 担当: 吉川・一戸

丸喜齋藤組 HP



instagram